

○入+入 通信

発行所▶大阪府グラフィックサービス協同組合
コスモス会
編集責任▶コスモス会事務局

(3) 「iPad」や「電子書籍」は驚異的なのか?

電子書籍自体は以前からメディアとして存在していたにもかかわらず、今年が「電子書籍元年」と騒がれているのは、Apple社の「iPad」が日本で発売され、amazon社の「Kindle」とともに「黒船来襲」とされているからです。そのため、業界全体が危機感

台数から見てもスマートフォン向けのコンテンツの方が需要が増えるのではないかと予測できますが、どのくらいビジネスとして広がるかは全く読めません。今すぐ業界の仕事が全て電子書籍に取て代わるというのも考えにくい状況です。

結局のところ「iPad」登場を聞き云に怖れるよりも、今はまだ電子書籍コンテンツ受注のビジネスチャーンスが増えた、くらいに考えるべきではないかというのが率直な結論となりました。(あくまで田中の私見ですので了承ください。)

ます持こえておきたいところですが、そもそも「電子書籍」って何を意味するでしょう？

通常は「書籍に似た体裁のデジタル・コンテンツ」とされているようです。雑な括りといわざるを得ないのですが、世間一般ではこう定義されているようです。

②セミナーの内容について

今まで聴いた中で、印象深い事柄をいくつか掲げてみます。

- ・教育現場でのデジタル化（図書館の蔵書のデータベース化あるいは教科書の電子書籍化）はどうやら避けられない流れ。
- ・著作物をデジタル化するに当たつての著作権や再利用に関する法整備はまだまだ置き去りにされている。

2010年9月現在、我が業界は「iPad」や「電子書籍」のセミナー花盛りとなっておりますが、いくつか参加した上での中間報告をさせていただきたいと思います。

を持ち、やたら関連セミナーが増えてるんですね。では、どのくらい驚異なのでしょうか？

—[iPad] ノウハウ集め

「電子書籍」に関する単語の解説は裏面を！

記念誌
『信頼の20年』が完成

追伸 次は十一月五日の記念バーで
イ（帝国ホテル大阪）に向けて
忙しくなります。

日時：9月17日(金) 6時半～
場所：社会福祉指導センター
4Fゼミナール室

第一回総会議は、昨年の十一月。
①どのような内容にするか
②いつまでに仕上げるか
③担当の振り分け
④資料の収集

が決まりましたので再度ご確認をお願いいたします。

リード：長谷川恵津子
サブリーダー：森沢美和子
担当：岩下照江、西本正子

木原由美子、山本世津子、
北村光延、清原幸子、
栗波寿美、田畠ヒサ子、
兵頭和代、深田俱代、
舛田寿子、宗次道子

- ◆各部会報告
- サロン部、情報部、H・P委員会
- ・記念パーティの準備に協力する
- ◆その他として
- ・記念パーティの件

会の田中部長から「全面的に
パーティを応援します」と、頼も
しくて嬉しいことばを頂いてお
ります。サロン部・情報部の皆さ
まも宜しくお願い致します。

「暑さ寒さも彼岸まで」と昔
から言われておりますが、まさに



一筆箋に記事をと言われ、思ひ出したのが、この間何かの本で子育てについて「しつけ」の三原則の一つは「返事」と書いてあるのを見て、私はちょっと考え込みました。

OGSより
10月27日(水)
11月26日(金)
ツイッターの
勉強会が
あります。

皆さんはどうでしょうか?
返事のむづかしさを味わった秋
の一日でした。川西佳子